

令和4年度

要覧



公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館内

TEL 076-432-6562 FAX 076-432-1766

Eメール toyama@nikkyoko.or.jp URL <https://www.nikkyoko.or.jp/company/toyama>

組織と事業

1. 名称	公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部
2. 所在地	〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館内
3. 目的	この法人は、青少年の健全な育成に資するため、有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付、教育一般の特に有益な研究に対する助成等を行い、教育、文化の向上発展に寄与するとともに、教育関係者の福祉向上を図ることを目的とする。
4. 事業	この法人は、上記の目的を実現するために、次の事業を行う。 (1) 有為の学生、生徒に対する奨学資金の貸与及び給付 (2) 教育一般の特に有益な研究に対する助成 (3) 教育、文化の振興に対する支援 (4) 教育関係者の福祉向上 (5) その他この法人の目的を実現するために必要な事業
5. 役員等	幹事会 …… 幹事(9名)をもって構成 運営委員会 …… 運営委員(30名)をもって構成 監査会 …… 監査(2名)をもって構成
6. 事務局	専任役員 …… 2名 職員 …… 1名(奥井郁江) 参事 …… 6名(澤木昇、平本道宏、藤岳亮子、窪正則、笹島康代、田中順子)

役員一覧

役職名	氏名	所属・職
顧問	荻布佳子	富山県教育委員会教育長
”	亀遊壽之	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部元支部長
”	小林福治	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部前支部長
支部長	青木正邦	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部
副支部長	中崎健志	富山県教育委員会教育次長
専任幹事	武島浩	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部
幹事	宮口克志	富山市教育委員会教育長
”	本江孝一	富山県高等学校長協会長
”	白江日呂雄	富山県中学校長会長
”	豊田高久	富山県小学校長会長
”	相澤誠	富山県教職員組合執行委員長
”	中田正幸	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部友の会代表
監査	廣瀬敬一	砺波市立出町中学校長
”	堀るみ子	富山市立杉原小学校長

「教弘」の歩み

"たすけあい"の輪

太平洋戦争後の1949(昭和24)年、日本人の心が未だ荒廃していた頃。

「健全にして文化的な社会の建設は、教育の振興なしには望めない。」状況にあり、「教育の復興のためには、教職員の生活の安定を図ることが第一」との信念のもと、教職員の『頼母子』による共済事業が始められました。

静岡県で蒔かれたこの「一粒の麦」は、「教育にたずさわる仲間たちの“たすけあい”の輪を広げよう!」との願いのもと、先人の弛みない努力により全国に拡がり、1952(昭和27)年、日本教育公務員弘済会の創立に発展、1955(昭和30)年には、文部省から財団法人の認可を受けるに至り、今年度は70周年を迎えます。

「富山県教育公務員弘済会」が発足

富山県でも、小学校長会が、中学校長会や高等学校長協会等に呼びかけて、1957(昭和32)年、財団法人日本教育公務員弘済会の支部として「富山県教育公務員弘済会」が発足し、1984(昭和59)年には、財団法人の設立が認可されます。

教職員の福利厚生からスタートした弘済会事業は、公益事業へと発展し、奨学・教育研究助成・教育文化事業などの教育振興事業に拡大しています。

公益財団法人として

「県での運営基盤の安定を図る。」という使命を終えた財団法人富山県教育公務員弘済会は、2010(平成22)年4月、公益財団法人を目指して全国が一つに合併し、富山支部としてスタートを切りました。

また、公益認定等委員会からの答申を受けた内閣総理大臣は、2012(平成24)年4月、これを認定、「公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部」となりました。『公益財団法人』に認定されたことは、弘済会事業の原資となる「教弘保険(ジブラルタ生命との提携事業)から生ずる契約者配当金が事業資金となることの仕組み」が行政政府によって認められたことになり、社会的信用度とともに社会的使命も高まりました。

富山支部は、事業量の拡大とともに質の充実を図って『民による公益の増進』に努め、富山県教育の振興に、また、教職員の福祉に資する弘済会であり続けたいと願っています。



(表紙写真: 剣岳から見える富山湾)

令和3年度 弘済会事業のあらまし

教育研究助成事業

教育研究や実践活動への支援

個人・グループ・学校・教育団体・研究大会などに対し、奨励金や助成金を交付し、本県教育の充実・振興のための支援を行っています。

総額 1,811万円

教育団体研究助成	143万円	12団体
教育研究大会助成	291万円	90件
教育助成	456万円	(小・特支小) 152校
課題研究助成(平17～実施)	322万円	644個人
課題研究奨励助成	90万円	優秀賞20件 優良賞30件
経営改善助成(平21～実施)	248万円	54件
経営改善奨励助成	109万円	最優秀賞1件 優秀賞2件 優良賞3件 個人奨励賞3件
現職研修助成	93万円	31団体
「教育実践報告集」刊行	59万円	1,020冊

教育文化事業

豊かな教育文化をはぐくむために

教育文化の向上を図り、その発展を目指すことを目的に支援を行っています。

総額 89万円

文化振興助成	21万円	3団体
日教弘支部奨励金	40万円	2団体
文化講演会(弘済会企画)	28万円	1件

奨学事業

無利息で貸与及び返済不要の給付

総額 2,100万円

貸与

有為な人材育成のため、大学・短大・専門学校で学ぶ学生に無利息で資金貸与を行っています。

貸与額 1,700万円 20名

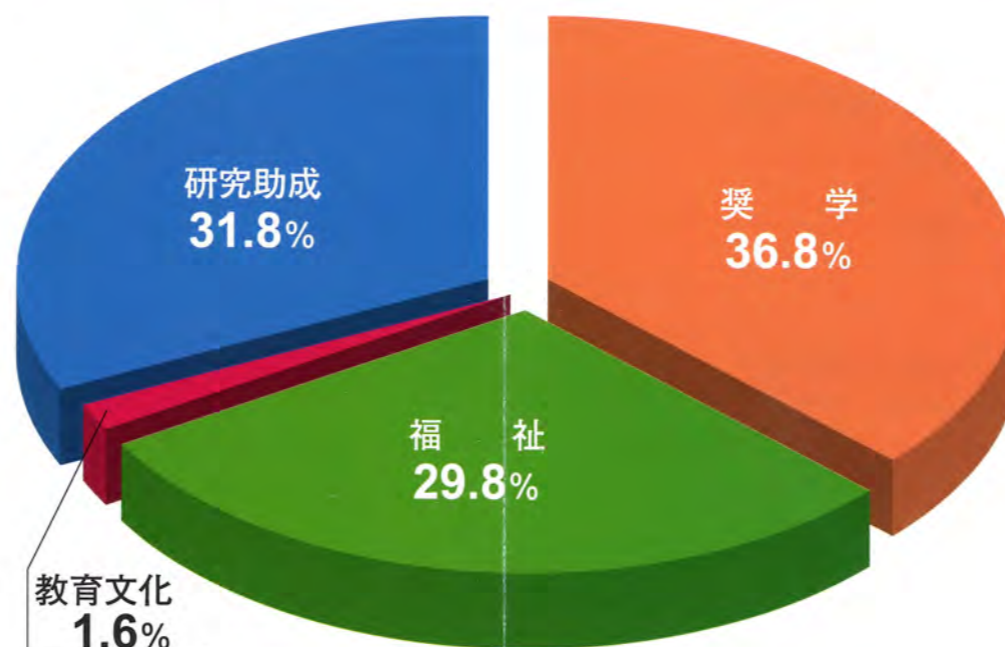
給付

修学意欲が有り、経済支援を要する高校3年生に奨学金を給付しています。

給付額 400万円 高校3年生 40名

弘済会事業の拡充

総額 5,701万円



福祉事業

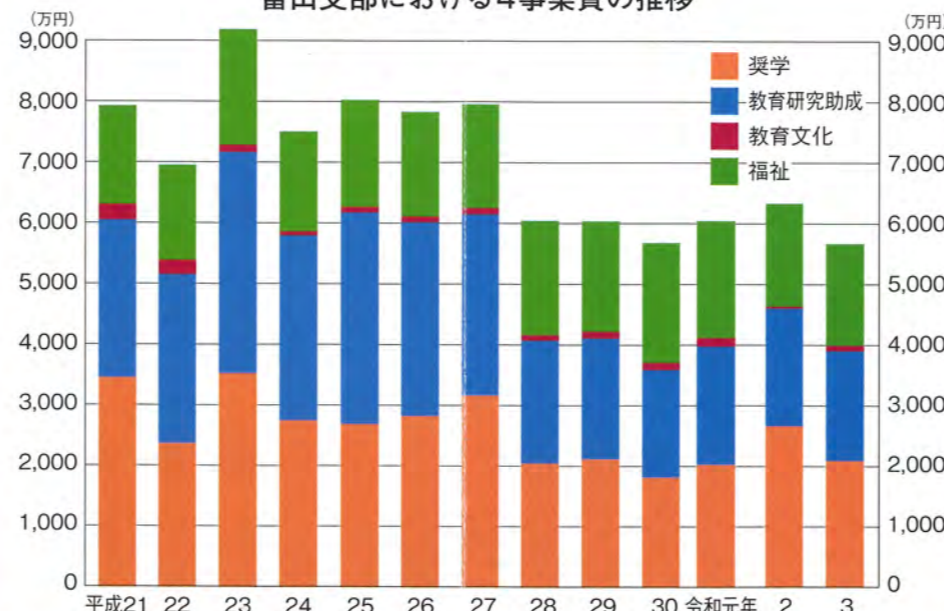
暮らしにうるおいを

教弘加入者の皆様に、より豊かな暮らしをしていただくために支援しています。

総額 1,701万円

結婚祝	67万円	67名
出産祝	140万円	140名
大学・短大・高専・専門学校入学祝	113万円	113名
高校入学祝	39万円	78名
家族弔慰	244万円	244名
本人弔慰	9万円	9名
火災見舞	0万円	0名
特別協力校(園)記念品	17万円	18校
加入継続記念品	51万円	253名
健康増進補助	878万円	1,356名
指定宿泊施設利用補助	39万円	155名
弘済会旅行補助	コロナ禍のため事業中止	
鑑賞・観劇補助等	104万円	441名

富山支部における4事業費の推移

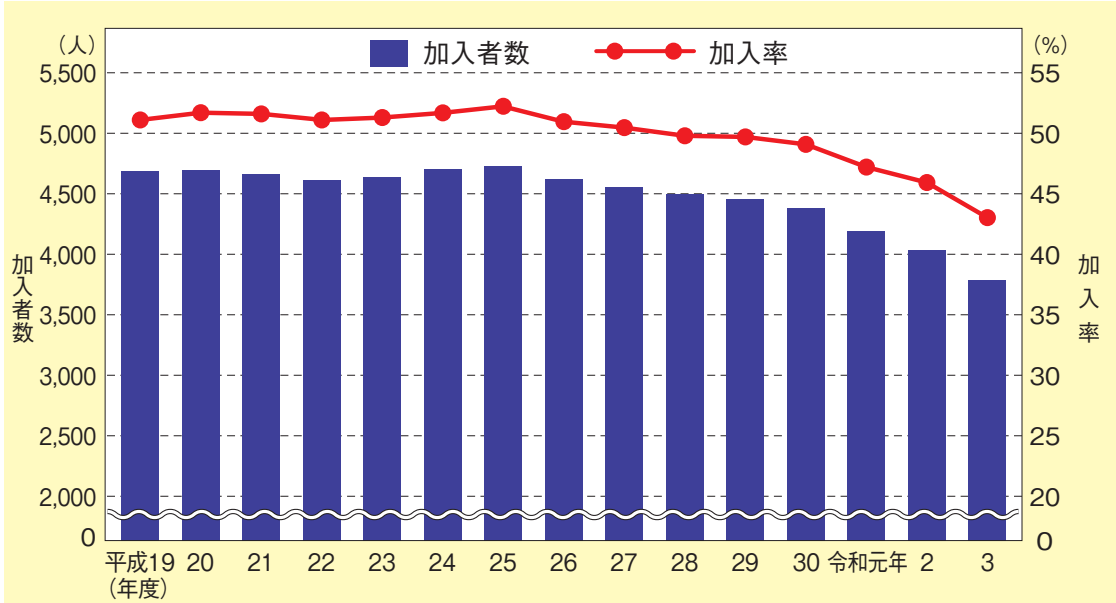


「教弘保険」は教職員を支えています

共済事業（提携保険事業）

※事業提携会社
ジブラルタ生命保険(株)

教弘保険への加入状況（現職）



“たすけあいの輪”を広げましょう!

- 富山県の教育の振興に役立っています。
(奨学、教育研究助成、教育文化(助成)事業など)
- 福祉給付・補助があり、退職後も継続できます。
- 現職の教職員しか加入できない教職員のための「たすけあい」の保険です。
- 保険料が低廉です。(集团契約だから)

